



モデル事業

【団体概要】

「野生生物と人とが共存できる地域作り」を目的に活動している。具体的な活動としては、「野生生物の保護（人と野生生物の共存）」、「住民が安心して暮らすことのできる環境の保全」、「保全活動を進めるための諸調査」を3本の柱にして活動を続けている。

会員数：115人 設立 1990年12月

活動紹介

会長（大藪健）、副会長（鈴木藤蔵、伊藤幹雄）、事務局長（手塚幸夫）他、役員5名に活動会員10名程度で各活動を分担し担当している。本モデル事業では、原稿作成、写真撮影、ページデザイン、印刷版制作をすべて会員内で行った。

【主な活動実績】

夷隅郡市自然を守る会の主な活動は、以下の通り。

- 1990年～ ゲンジボタルの保護と生息環境の保全
ミヤコタナゴの生息地域の調査と保護
- 1992年～ トンボの生息調査と保護
夷隅川河口干潟の保護
- 1996年～ 海中桜再現実験
アカウミガメ上陸産卵調査と海岸保全活動
- 2003年～ 菜の花エコプロジェクト
- 2006年～ ちば生物多様性への参加
いすみ夢鯨の会への参加

問い合わせ先：299-4501 千葉県いすみ市岬町椎木126-5
 代表者：大藪 健 TEL：0470-87-5500 FAX：0470-87-5500
 Mail：shiroi-koumori@cream.plala.or.jp URL：http://www.mikio-itodesign.com

南房総「生物多様性」観察ガイドブック

- 事業期間：平成20年9月1日～平成21年1月31日
- 事業の目的：南房総（外房地域）の里山・里海の生物多様性を観察・理解するための観察ガイドブックを作成する。

活動の内容

流域を地域単位として捉え、丘陵部の森、谷津田、田園地帯、下流域（干潟）、海岸（磯と砂浜）、沿岸域の6つのエリアに分けてガイドブックを作成した。

各エリアについては、エリアの特性に基づいて、動物、植物、景観、環境、人と生物の共生などの視点から編集した。そのため、エリアによっては1つの冊子にまとめ、また別なエリアによっては複数の冊子を作成した場合もある。

今期の事業では①田園地帯については、「ゲンジボタルの観察」に関するもの、②海岸については、「河口周辺の動植物」に関するものを作成した。



左「いすみのゲンジボタル」右「夷隅川河口の動植物」

今後の方向性

会員の観察活動、現状調査活動の成果としてガイドブックを位置づけ、5～10年計画で進める。最初の3年間で、谷津田、田園地帯、下流域、海岸のガイドブックを作成する。